

シアトルだより - November 2016 Vol.8



大統領選挙は、移民が多く住む西海岸の人々に衝撃の結果でした。シアトル市内の高校生は次期大統領の人種差別的言動に対してデモ行進をしていました。多くの学校では、校長先生がこの学校は誰もが平等で安全な場所だとメッセージを出したと聞きます。勤務校でも社会科をはじめ様々な授業で生徒のディスカッションがあったようで、生徒が発行する学校新聞にも一面で取り上げていました。動揺が広がった11月でした。



日本では文化の日がありますね。シアトルに日本文化会館という歴史的な建物があり、Bunka no hi という日本紹介のイベントで、兵庫県のブースを担当しました。来年は酉年なので、はばたんのカードに色を塗って、名前やメッセージを筆で書いてもらいました。

また近くの小学校ではカルチャーナイトという、いろんな国の文化を紹介するイベントがあり、日本語クラブの生徒と折り紙をしました。Origami という言葉を知っている子どもは多いですが、小さな紙をぴったり重ねるという経験はほとんどないのでとても難しそうでした。



11月の後半はサンクスギビングという祝日があり、七面鳥を食べることで有名です。入植した西洋人が収穫期に先住民に感謝したことが起源ということになっています。サンクスギビングにはカリフォルニアで前ALTのステファニー先生にも会いました。神戸北高校を懐かしがっていました。

日本でも歳末募金などがありますが、こちらでもサンクスギビングからクリスマスにかけて寄付の時期です。キャミアック高校では、缶詰などを持ち寄り、恵まれない子どもに寄付をする取り組みがされました。また、3時間目の授業がホームルームとなるのですが、各ホームルームごとに子ども一人に対してクリスマスプレゼントを贈ります。



その中心になっているのはリーダーシップの生徒です。日本でいう生徒会執行部の活動のようで、それが授業になっています。リーダーシップ入門の授業を終え、次年度に面接や作文で認められた生徒がリーダーシップの授業を取ることが認められます。グループごとに校内の様々な行事を担当し、企画や司会、広報、運営に意欲的に取り組みます。

日本語の授業では、日本の高校とアメリカの高校の違いについて学習しています。先日は映画ビリギャルを見て受験について学びました。神戸北高校の一年間も紹介しました。一丁食堂の様子を見せたら生徒はとても羨ましがっていました。「時事英語」を選択している3年生からはビデオレターが届きました。生徒は返事を楽しみにしています。今後もお互いの生徒の英語と日本語学習のために続けていきたいです。

